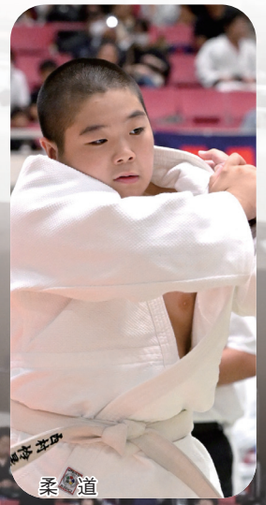
BUDŌ NEWS

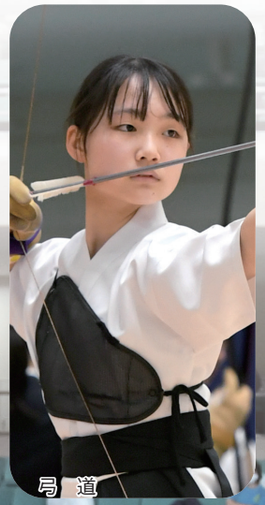
今月のニュース

高松宮記念杯争奪
第 31 回全日本銃剣道選手権大会

空手道


柔　道

少林寺拳法


弓　道

銃剣道

なぎなた

剣　道

合気道

特集 令和５年度全日本少年少女武道錬成大会

猛暑を吹き飛ばせ！ 汗と涙と笑顔の錬成大会

令和５年度全日本少年少女武道錬成大会が、７月 16 日の合気道を皮切りに、弓道（17 日）、剣道（22・23 日）、空手道（29 日）、柔道（30 日）、銃剣道（８月２日）、少林寺拳法（５日）、なぎなた（６日）の計８種目９日間、全国から約１万名の参加者を得て開催された。

今夏も、全国各所で気温 35 度以上の茹だるような猛暑日が続く中、日本武道館に集まった子どもたちは、暑さを吹き飛ばす元気な声を大道場に響かせ、仲間たちと共に精いっぱいの基本、試合、演武を披露した。

合気道

7月16日　139団体・1594名参加

参加者をA班（午前の部）・B班（午後の部）に分け、同じ内容を実施した。午前の部に開会式が行われ、山谷えり子日本武道館常任理事と植芝守央合気会理事長が挨拶。その後の基本錬成では、全員で舟漕ぎ運動を行った。稽古錬成は、本部道場指導部師範が手本を示しながら行われた。続いて各団体による演武錬成が行われ、日頃の稽古の成果を2分間の中で精いっぱい披露した。各班の最後は、植芝充央合気道本部道場長が模範演武を行い、錬成を締めくくった。

ちかいのことば　合気道大阪東武育会
熊取谷斗羽（中学３年・左）、熊取谷心羽（中学３年）

大会名誉会長挨拶
植芝守央
合気会理事長

大会会長挨拶
山谷えり子
日本武道館常任理事

模範演武（植芝充央合気道本部道場長）

弓道

7月17日　82団体・862名参加

開会式では、高村正彦日本武道館会長と加藤出全日本弓道連盟会長が挨拶。その後の基本錬成では、全員で準備体操と徒手八節（としゅはっせつ）を行った。その後、友安正人教士七段・飯山雄介教士六段・久野弥花錬士五段の特別演武を見取り稽古した。続く試合錬成では、予選（男女とも1チーム3名で各4射の計12射）を行い、6中以上のチームが予選を通過。また、予選で4射を皆中させた者には、皆中賞が贈られた。決勝は的中数により勝敗が競われ、参加者は日頃の成果を発揮した。

来賓祝辞
角田喜彦
スポーツ庁次長

大会名誉会長挨拶
加藤　出
全日本弓道連盟会長

大会会長挨拶
高村正彦
日本武道館会長

ちかいのことば　四日市メリノール学院中学校弓道部
山下寧花（中学３年）

特別演武（左から）飯山雄介教士六段、
久野弥花錬士五段、友安正人教士七段

剣道

7月22・23日　732団体・2694名参加

開会式では22日に川端達夫日本武道館理事長と中谷行道全日本剣道連盟専務理事が、23日は山谷えり子日本武道館常任理事と中谷行道専務理事が挨拶。開会式後、選手全員で準備体操と手刀での素振りを行った。試合錬成は3人制の団体戦として、基本判定試合と一本勝負、ベスト8以上は三本勝負で行われた。令和元年度以来4年ぶりに実施した試合錬成では、少年少女剣士の素晴らしい技が多く見られた。

公開演武
「木刀による剣道基本技稽古法」
（東京都・足立区剣道連盟）

大会名誉会長挨拶（両日）
中谷行道
全日本剣道連盟専務理事

大会会長挨拶（23日）
山谷えり子
日本武道館常任理事

大会会長挨拶（22日）
川端達夫
日本武道館理事長

ちかいのことば（23日）
平山優翔
（栃木県・大田原少年剣道教室）

ちかいのことば（22日）
安田薫
（京都府・南浜少年補導委員会剣道クラブ）

空手道

7月29日　116団体・1253名参加

開会式では、塩谷立日本武道館常任理事と笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶。模範演武では、帝京大学の女子団体形が披露された。基本錬成では、小学1・2年生の部、3・4年生の部、5・6年生の部、中学生の部で上段・中段突き、上段・中段蹴りなどを行った。試合錬成では、中学生の部を男子と女子に分け、計5部門によって形競技と組手（決勝トーナメント）が行われた。選手たちは渾身（こんしん）の突きや精いっぱいの蹴りを繰り出し、白熱した試合が行われた。

ちかいのことば　仙台教育空手
早坂湊太（小学６年・中央）

大会名誉会長挨拶
笹川　堯
全日本空手道連盟会長

大会会長挨拶
塩谷　立
日本武道館常任理事

模範演武・帝京大学女子団体形「雲手」（ウンスー）。
（左から）水上千穂、畑中彩留葉、高倉千尋

柔道

7月30日　213団体・1769名参加

開会式では、森英介日本武道館常任理事と中里壮也全日本柔道連盟副会長兼専務理事が挨拶。基本錬成に移り、模範演武・技の解説が行われた。その後、準備運動・かかり稽古と続き、かかり稽古では積極的に取り組む参加者の姿が見られた。基本錬成終了後、試合錬成に移った。試合錬成は低学年の部と高学年の部に分かれて実施された。低学年の部・高学年の部ともに4ブロックに分かれて行われ、真剣な姿勢で参加者は試合に臨んだ。

ちかいのことば　栃木県・野木町柔道クラブ
吉原凪兎（小学６年）

大会名誉会長挨拶
中里壮也
全日本柔道連盟副会長兼専務理事

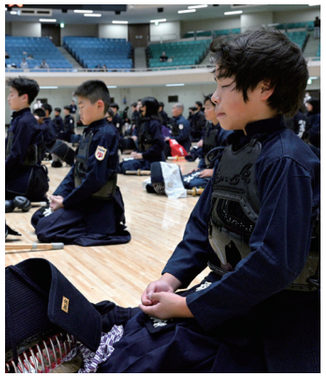
大会会長挨拶
森　英介
日本武道館常任理事

模範演武　太田彪雅選手（上）

ちかいのことば　元気道場･大桃紘都（中学３年）

大会名誉会長挨拶
番匠幸一郎
全日本銃剣道連盟会長

大会会長挨拶
江渡聡徳
日本武道館常任理事



特別演武
長谷川英昭教士八段（右）、宍浦功二教士七段

銃剣道

8月2日　46団体・191名参加

開会式では、江渡聡徳日本武道館常任理事と番匠幸一郎全日本銃剣道連盟会長が挨拶。特別演武後の合同錬成では、銃剣道と短剣道でそれぞれの指揮者のもと、選手たちは大道場いっぱいに広がって錬成を行った。個人試合錬成では、短剣道、銃剣道の小学４年生以下、５年生以上に分かれて競技が行われ、最後に銃剣道の小学５・６年生の部と中学生の部の団体試合錬成が行われた。大道場には「ちびっ子剣士」たちの元気いっぱいの甲高い掛け声と声援が鳴り響いた。

少林寺拳法

8月5日　162団体・839名参加

本年は「力愛不二（りきあいふに）～あなたと共に～」を大会テーマに開催。

鎮魂行に続き、開会式では、高村正彦日本武道館会長、宗昂馬少林寺拳法連盟会長が挨拶を行った。基本錬成では、秋元宏介正拳士四段の指揮のもと、全員で突きや蹴りなどを行った。演武錬成では、段・級、学年別に単独演武や組演武、団体演武を行った。少年・少女拳士たちは大きな気合とともに拳を繰り出し、空を蹴り上げ、元気いっぱいに錬成に励んだ。

鎮魂行主座　秋元宏介正拳士四段（少林寺拳法連盟）

大会名誉会長挨拶
宗　昂馬
少林寺拳法連盟会長

大会会長挨拶
高村正彦
日本武道館会長

招待演武　小林渚沙三段（左）、安藤瑠衣那二段
（桜林高校少林寺拳法部）

招待演武　糸日谷凌央二段
（桜林高校少林寺拳法部）

ちかいのことば
駒井志穂梨（清教学園中学校・３年）

大会名誉会長挨拶
久保素子
全日本なぎなた連盟会長

大会会長挨拶
川端達夫
日本武道館理事長

なぎなた

8月6日　127団体・769名参加

開会式では、川端達夫日本武道館理事長と久保素子全日本なぎなた連盟会長が挨拶を行った。基本錬成では、参加者が大道場いっぱいに広がり、準備体操、素振り、体捌きを行った。競技では、演技競技（小・中学生合計7部門）と試合競技（小・中学生合計10部門）が行われた。2人1組で、しかけ応じの指定技を演武する演技競技では、少年少女の気品あふれる演武が披露された。試合競技では、各試合場で気迫のこもった技が繰り出された。

高松宮記念杯争奪
第31回全日本銃剣道選手権大会

赤平翔太が初優勝を飾る

決勝＝赤平（左）が下胴を決める

高松宮記念杯争奪第31回全日本銃剣道選手権大会が8月4日、日本武道館で開催された。全国から63名が出場し、決勝は初めて決勝に上がった赤平翔太（山形）と連覇を狙う藤原考貴（栃木）が対戦。2―0で赤平が勝利し、初優勝を飾った。

■1～3回戦

第1ブロックでは、過去2回優勝の薗田泰之（長崎）が安定した試合運びを見せて勝ち上がる。出場2回目の井上聖太（京都）は準々決勝に初めて進出した。

第2ブロックでは、連覇がかかる藤原が落ち着いた試合展開で順当に勝ち上がる。一方、初出場の村上泰啓（北海道）は1回戦で第26回大会優勝の菅野学（福島）を1―0で降す金星を上げて勝ち上がった。

第3ブロックでは、竹島慎一郎（石川）と村上泰啓の弟である村上浩隆（北海道）が勝ち進んだ。

第4ブロックでは、赤平と、前回大会2位の佐藤岳（静岡）を1―0で降した河端勇樹（広島）が準々決勝進出を果たした。

準々決勝①＝攻める竹島（右）

準々決勝②＝上胴を狙う赤平（左）

準々決勝③＝薗田（左）が出バナに上胴を決める

準々決勝④＝藤原（左）が上胴で勝利

■準々決勝

準々決勝①

竹島慎一郎　上一　村上浩隆

互いに決め手を欠くまま試合は延長戦に進んだ。試合時間10分過ぎ、竹島がジリジリと間合いを詰め上胴で村上の剣を弾いた。生じた村上の隙にそのまま上胴を決めて勝利。竹島が準決勝に初めて進出を果たした。

準々決勝②

赤平翔太　コ上一上　河端勇樹

試合終盤に、居着いた河端に赤平がコテで先取。すると、河端も上胴を決めて一本。試合は延長戦にもつれ込んだ。延長50秒過ぎ、河端の手元が緩んだ隙に赤平が上胴を決めて勝利を収めた。

準々決勝③

薗田泰之　上一　井上聖太

開始早々、薗田が出バナの上胴に飛ぶが決まらない。その後も終始、薗田が主導権を握り、巧みに井上の攻撃を返していく。延長に入り、再び薗田が出バナで上胴に飛んだ。今度は鮮やかに決まり、勝利した。

準々決勝④

藤原考貴　上一　村上泰啓

村上が激しく攻めるものの、藤原は間合いをとって冷静に捌いていく。試合時間10分を過ぎても決着はつかず、両者は粘りの攻防を見せる。11分30秒過ぎに藤原が村上の出バナを捉え、上胴を決めて勝利した。

◇

◎ベスト8進出者

▽ベスト8＝村上浩隆選手（北海道）

「結果はどうあれ、後悔のない試合ができたので満足しています。小学校2年生の時から（兄と）一緒に銃剣道をやっていました。準々決勝の後、兄とアイコンタクトを交わし、『後は頼んだ』と伝えました。次は優勝を目指したいです」

▽ベスト8＝河端勇樹選手（広島）

「コテを取られてしまい残り時間も短かったので、絶対に取ってやるという気持ちでしが、力不足でした。初めての準々決勝でした。今回、練習する時間が短かったですが、少しでも上にという気持ちで臨みました。来年また頑張ろうと思います」

心技体 人を育てる総合誌
月刊 武道

▽ベスト8＝井上聖太選手（京都）

「ベスト8まで勝ち上がれて嬉しく思っています。薗田選手との試合では、対策を練っていましたが、全部返され、向こうの方が上手でした。やはり、もう一つ上に上がりたかったです。もっと精進して、自分に負けないように頑張ります」

▽ベスト8＝村上泰啓選手（北海道）

「ベスト8が目標でした。ここまでこれて良かったです。また、優勝経験のある菅野学選手や藤原考貴選手と試合ができて光栄でした。銃剣道は私が小学4年生、弟が2年生から一緒にやっていて、選手権に同時に出場できたのは嬉しいことでした。先に弟が負けたので、『北海道として勝つぞ』という気持ちで準々決勝に臨みました。次は優勝を目指します」

準決勝①＝赤平（左）が上胴で一本勝ち

■準決勝

準決勝①

赤平翔太　上―　竹島慎一郎

互いに一歩も引かない攻防を見せるものの一本には届かない。延長戦に入ったその直後、赤平がフェイントを掛けながら竹島に詰め寄り、素早く上胴に飛んだ。竹島も反応し攻撃に出るものの間に合わず赤平に旗が上がった。赤平は初めて決勝の舞台に進んだ。

◀準決勝②＝藤原（左）が上胴で先取する

決勝＝赤平（右）が下胴で鮮やかに一本を奪う

準決勝②

藤原考貴　上上―　薗田泰之

互いに3度目の優勝がかかる実力者同士の対戦。両者は一歩も引かない攻防を見せるも、藤原が一瞬の隙をついた上胴を決めて先取。試合終盤には、胴に飛ぶ薗田に藤原が上手く上胴を合わせて2―0で勝利。藤原が連覇をかけて決勝に進出した。

■決　勝

赤平翔太　下ノ―　藤原考貴

赤平は初優勝、藤原は3回目・2連覇をかけて決勝に臨んだ。両者は激しい攻防を繰り広げ、序盤から赤平が積極的に突を出すたびに場内から大きな拍手がおくられる。対する藤原は間合いを図りながらその突きを躱し機をうかがう。その後も赤平が積極的に攻める展開が続く。試合中盤に、基本の間合いで向き合った両者。この時、藤原の意識が途切れた瞬間を赤平は見逃さず鮮やかに下胴を決めて先取した。最後は勢いに乗る赤平がフェイントを入れた連続技でノドを決めて2―0で勝利。赤平は嬉しい初優勝に輝いた。

自分に打ち克ち、掴み取った初優勝

◎優勝＝赤平翔太選手（山形）

――今のお気持ちをお聞かせください

「優勝できて本当に嬉しいです。決勝の相手は3度目・2連覇のかかる藤原選手でした。実力もあって強い選手だと承知していました。しかし、『気持ちで負けたら勝てない』と思い臨みました。藤原選手に一瞬の隙ができた時、剣が出される前に自分から出そうと突きました」

――大会を振り返って

「ご指導いただいている富樫貴臣教官からは一戦一戦自分の力を出し切るよう戦ってこいと激励いただきました。それを実現できて良かったです。去年は自分の実力を出せないまま初戦で敗退しました。その悔しさを忘れることなく日々の稽古に邁進してきました」

――具体的な稽古法を教えてください

「普段の稽古は山形市内の体育館で富樫教官の指導の下、銃剣道訓練隊の仲間と一緒に、1日4時間程度、汗をかいています。私の場合、間合いに入って一本を取られることが多かったので、間合いに入ってから自分の攻めであったり、防御だったり、そういった細かいところを追求して稽古してきました。また、大石賢治前教官の『自分に厳しく』とのご指導が私の銃剣道の土台にあり、その結果、確実に実力がついたのを実感していました」

――今後の抱負をお聞かせください

「現在31歳、銃剣道歴は11年くらいです。これまで全日本選手権で入賞することはありませんでした。山形に帰ったら富樫教官と大石前教官にお礼の挨拶に伺いたいと思います。今回選手権覇者となりましたが、日々謙虚な気持ちで来年の連覇を目指して頑張りたいです」

○準優勝＝藤原考貴選手（栃木）

「悔しいです。この1年間、選手権覇者に恥じないような練習をしてきたつもりでした。連覇と3度目の優勝がかかっていたので、プレッシャーで身体が硬くなったのかもしれません。しかし（決勝は）それほど悪くはないと思ったのですが、単純に赤平選手が強かったです。2本とも私の足が止まった時に決められてしまいました。2位のままでは終われません。優勝目指して頑張ります」

▽第3位＝竹島慎一郎選手（石川）

「今回で7度目の出場ですが初めて準決勝まで上がれました。今まで稽古してきたことを少しは発揮できた大会だったのかなと思います。しかし、最後に勝てなかったのはこれからの課題です。また、一から頑張っていきたいです」

▽第3位＝薗田泰之選手（長崎）

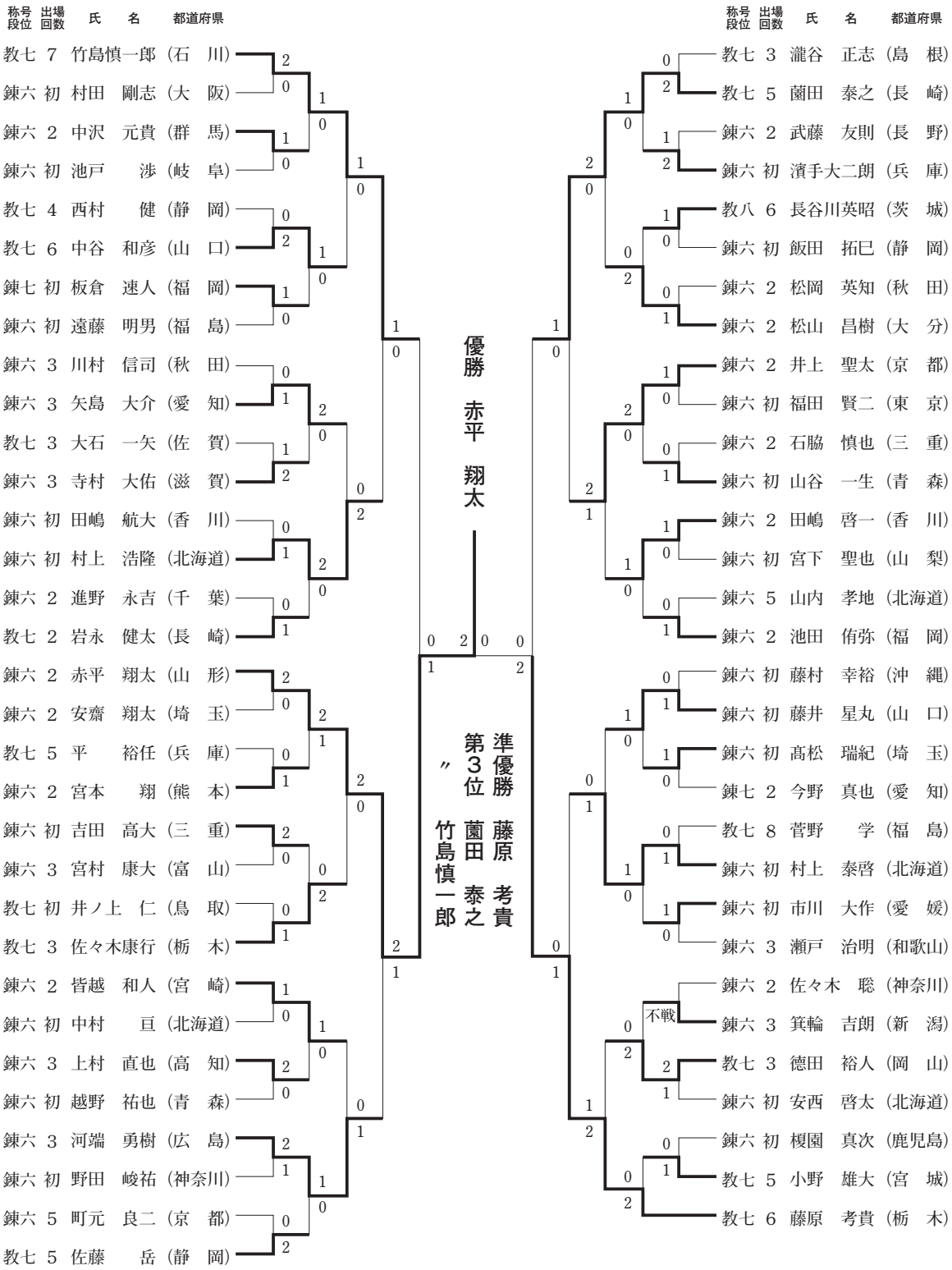
「自分の力を出せずにいたら後悔をしていましたが、力を出し切って、負けたので特に悔いはありません。藤原選手との対戦も特に意識せずに自分の銃剣道をしようと臨みました。一戦一戦自分の力を出すだけです。来年はもう41歳です（笑）。体力面は期待できませんので、維持しながら頑張っていきます」

◇

○津田昌泰審判長コメント

「決勝は、両選手とも優勝することを目的に稽古をしてこられた姿勢が、身体や試合など全般的に出ていました。今大会、準々決勝からは日頃の成果を発揮した立派な試合が多く見られました。昨年は、コロナの影響か、練習不足が否めない試合が見受けられましたが、今年は、連続技を決めるなどいい技を繰り出す試合が多かったように思います。銃剣道は、たゆまない毎日の稽古が大切です。選手たちにはもう一段、高い目標を設定して稽古をしてもらいたいと思います」

第31回　全日本銃剣道選手権大会



第38回わんぱく相撲全国大会

6年生 清水泰我（茨城県A）
わんぱく横綱に輝く

5年生は梅松琉牙、4年生は大嶋将生がそれぞれ初優勝

6年生・決勝＝清水（上）が山城を寄り倒しで下す

第38回わんぱく相撲全国大会（共催＝日本相撲連盟、東京青年会議所）が、7月30日、東京墨田区両国の国技館で開催された。大会には全国各地の予選を勝ち抜いた小学4年生から6年生まで、総勢315名（各学年105名）が出場した。

試合は学年別トーナメント方式の個人戦で行われ、6年生の部では清水泰我（茨城県A）、5年生の部では梅松琉牙（東京選抜）、4年生の部では大嶋将生（岐阜）がそれぞれ初優勝を果たし、第38代わんぱく横綱に輝いた。

また、出場チームを対象に、個人戦の成績を点数換算し、全学年の合計点で順位を決定する団体戦が行われ、茨城県Aが初優勝し、清水は個人・団体の2冠を手にした。

■小学6年生の部

前年度横綱の竹嶋章太朗（大阪A）、同大関の大貫夏陽（柏）、同関脇の山城真優（GO沖縄）、岸田幸之輔（大阪B）の4名が順当に準々決勝へ進出。その他、前年度小結のテムージン チルグン（モンゴル）、

一昨年度小結の加藤倫太（のと）、伊勢大悟（愛媛）、清水泰我（茨城県A）がベスト8へ名乗りを上げた。

▽準々決勝

山城真優　○叩き込み　伊勢大悟

テムージン チルグン

○突き出し　岸田幸之輔

大貫夏陽　○送り出し　加藤倫太

清水泰我　○寄り倒し　竹嶋章太朗

山城が伊勢を叩き込みで下し、入賞常連の風格を見せつけた。モンゴル出身のテムージンは、前年度関脇の岸田を突き出しで退け、準決勝に進出した。前年度大関の大貫は、立ち上がりの突っ張りで加藤を崩し、立て直そうとするところを送り出しで下す。清水は、連覇を狙う竹嶋に怯むことなく、勢いよく寄り倒し、勝利した。

▽準決勝

山城真優　○掬い投げ　テムージン チルグン

開始直後、突進する山城をテムージンが突き落とし、一度軍配が上がるも、「突き落としの途中、テムージンの足が土俵から出ていた」との異議申し立てにより、取り直し。テムージンは再度、突き落としで仕留めにかかるが、山城が体勢を立て直し、寄り切ろうとするテムージンを掬い投げで土俵から出し、決勝進出。念願の優勝に王手をかけた。

清水泰我　○寄り切り　大貫夏陽

前年度横綱を倒し、勢いに乗る清水。しっかり組み合った左四つから持ち前の馬力で大貫を寄り切り、決勝へ進出した。

▽決勝

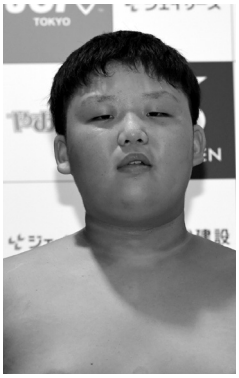
清水泰我　○寄り倒し　山城真優

悲願の優勝を狙う山城と、前年度の横綱・大関を破り、上り調子の清水が相見える。清水は立ち上がりから激しく寄り、山城を土俵際に追い詰める。山城は片足で必死に持ちこたえるも、清水が寄り倒し、清水がわんぱく横綱に輝いた。

心技体 人を育てる総合誌
月刊 武道

◀６年生・準決勝＝
清水（左）が大貫を寄り切り勝利

▶６年生・準決勝＝
山城（奥）がテムージンを掬い投げで制す



◎優勝＝清水泰我選手（茨城県A）

「優勝できると思っていなかったので、まだ実感が湧かないです。1回戦からとても緊張して思うように動けなかったのですが、応援するみんなの声がずっと聞こえていて、それが力になり、最後まで戦えました」

■小学5年生の部

前年度横綱の永田逸樹（山口県代表）、同関脇の岩本大和（加古川）が準々決勝へ進出。その他、梅松琉牙（東京選抜）、阿部聡太郎（大阪A）、樽本遥真（広島竹原）、下村士門（青森県代表）、横江寛翔（宮城県）、犬塚大翔（やらまいか）がベスト8に名を連ねた。

▽準々決勝

梅松琉牙　○押し出し　岩本大和

永田逸樹　○掬い投げ　阿部聡太郎

下村士門　○寄り倒し　樽本遥真

5年生・準決勝＝梅松（左）が永田を寄り切る

横江寛翔　○押し出し　犬塚大翔

前年度関脇の岩本に体格で勝る梅松が、一方的な押し出しで下す。大阪代表の阿部は永田の足掛けに、土俵際で懸命に粘るも、最後は永田が掬い投げで勝利。下村は、低い体勢で優位を取ろうとする樽本をいなし、寄り倒した。横江は、犬塚を力強い突っ張りで押し出して勝利した。

5年生・準決勝＝横江（右）の寄り倒し

▽準決勝

梅松琉牙　○寄り切り　永田逸樹

初出場の梅松が、前年度横綱・永田に挑む。「ハッケヨイ」の掛け声と同時に飛び出した梅松が、勢いそのまま永田を寄り切り、勝利した。

横江寛翔　○寄り倒し　下村士門

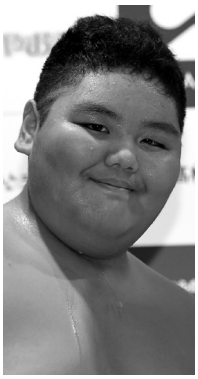
左足に掴みかかる横江に対し、上からがっちりとまわしを掴む下村。両者の体が離れた直後、いち早く体勢を整えた横江が下村を寄り倒し、決勝へ進出した。

▽決勝

梅松琉牙　○寄り切り　横江寛翔

両者、立ち上がりのぶちかましから、がっぷり四つで組み合う。梅松が渾身の力で土俵際へ追い詰める。横江も全力で踏ん張るが、梅松がしっかりと寄り切り、初優勝を成し遂げた。

5年生・決勝＝梅松（左）が横江を寄り切る



◎優勝＝梅松琉牙選手（東京選抜）

「横綱になることができて、とても嬉しいです。緊張はしていたのですが、うまく技を決めることができていたので、これからは横綱としての風格が出るように稽古を頑張りたいです」

■小学4年生の部

小学4年生ベスト8は、増田結士（大阪A）、大嶋将生（岐阜）、小松癒（市川）、小畑秀太（兵庫西宮）、山路弘祐（神奈川A）、山田健志朗（JCI新潟）、笹原蓮斗（千葉）、岩上毘優雅（富士山）であった。

▽準々決勝

大嶋将生　○押し出し　増田結士
小畑秀太　○掬い投げ　小松　癒
山田健志朗　○突き落とし　山路弘祐
岩上毘優雅　○押し倒し　笹原蓮斗

大嶋が増田を勢いよく押し出し、勝利。小畑は右四つから小松の廻しをしっかり摑み、掬い投げで小松を下す。山田は立ち上がりから鋭い突っ張りで、山路のバランスを崩し、突き落としで準決勝進出。岩上は体格差を活かし、一気に笹原を押し倒した。

4年生・準決勝＝大嶋（右）が小畑を送り出しで下す

▽準決勝

大嶋将生　○送り出し　小畑秀太

体格差のある両者。小畑が不意に背中を向けてしまったところを、大嶋が土俵外へ送り出し、決勝進出を決めた。

岩上毘優雅　○寄り倒し　山田健士朗

岩上が右四つから山田の廻しを捉える。勢いそのまま寄り倒し、岩上が勝利した。

4年生・準決勝＝岩上（右）が山田を土俵際へ追い詰める

◎日本武道館の単行本

剣道の文化誌　明治大学教授　長尾　進　著
四六判・上製・480頁・定価2,640円
本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。

剣道　その歴史と技法　埼玉大学名誉教授　大保木輝雄　著
四六判・上製・516頁・定価2,640円
本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。

合気道　その歴史と技法　合気道道主　植芝守央　著
四六判・上製・362頁・定価2,640円
世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。

空手道　その歴史と技法　小山正辰・和田光二・嘉手苅徹　著
四六判・上製・548頁・定価2640円
空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苅徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苅氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

マンガ・日本武道風土記（下巻）　漫画家・別府大学客員教授　田代しんたろう　著
B5判・248頁・定価1100円
全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみては。

死ぬまで弓道　弓道教士七段　小牧佳世　著
四六判・上製・342頁・定価2640円
競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ

学校武道の歴史を辿る　筑波大学名誉教授　藤堂良明　著
四六判・上製・354頁・定価2640円
明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

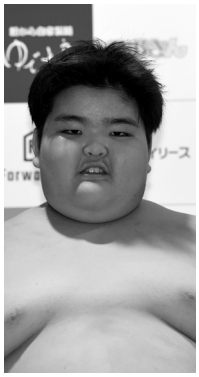
ご注文・お問い合わせ
（公財）日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147　FAX 03-3216-5158
https://www.nipponbudokan.or.jp

▽決勝
大嶋将生　○小手投げ　岩上毘優雅

立ち上がりから岩上がぶちかまし、もろ差しで廻しを取る。大嶋は負けじと体を寄せて土俵際に追い込む。最後は大嶋が小手投げを決めて、優勝を手中に収めた。

4年生・決勝＝大嶋（右）が小手投げを決める

◎優勝＝大嶋将生選手（岐阜）



「夏休みのとてもいい思い出ができました。特に緊張することなく、優勝する自信を持って取り組みをすることができました。将来は、大相撲で横綱を目指したいです」

◎ウクライナのわんぱく力士が国技館の土俵に上がる

ウクライナの子どもたちの支援を行う一般社団法人ウスミシュカが、戦禍に苦しむウクライナの子どもたちに希望を与え、日本との関係をより強めることを目的に、「わんぱく相撲ウクライナ予選」を開催。ウクライナ政府青年・スポーツ省、ウクライナ相撲連盟、東京青年会議所も連携し、大会が実現した。予選を勝ち抜いたミコラ・ハラドキフ（小学5年）、マカル・ユパトキン（小学6年）の2名が、本大会に出場した。

5年生の部1回戦、ハラドキフは犬塚大翔（やらまいか・今大会小結）と対戦し、惜しくも敗退。

6年生の部にて2回戦に勝ち進んだユパトキンは、早川貴人（はやかわきと）（山梨）に見事な足取りで勝利を決め、会場は感嘆の声を上げた。その後、3回戦で大貫夏陽（柏・今大会関脇）に敗れるも、精いっぱい健闘した2名のウクライナ力士に会場は割れんばかりの拍手を送った。

足取りで相手を制すユパトキン（上）

拍手を送るウクライナの応援

【大会結果】

▽小学6年生の部

横綱＝清水泰我（茨城県A）

大関＝山城真優（GO沖縄）

関脇＝テムージン チルグン（モンゴル）、大貫夏陽（柏）

小結＝伊勢大悟（愛媛）、岸田幸之輔（大阪B）、加藤倫太（のと）、竹嶋章太朗（大阪A）

▽小学5年生の部

横綱＝梅松琉牙（東京選抜）

大関＝横江寛翔（宮城県）

関脇＝永田逸樹（山口県代表）、下村士門（青森県代表）

小結＝岩本大和（加古川）、阿部聡太郎（大阪A）、樽本遥真（広島竹原）、犬塚大翔（やらまいか）

▽小学4年生の部

横綱＝大嶋将生（岐阜）

大関＝岩上毘優雅（富士山）

関脇＝小畑秀太（兵庫西宮）、山田健志朗（JCI新潟）

小結＝増田結士（大阪A）、小松癒（市川）、山路弘祐（神奈川A）、笹原蓮斗（千葉）

▽団体戦

優　勝＝茨城県A

準優勝＝東京選抜

3　位＝大阪A

枡（ます）席を埋め尽くす選手の応援

全国から多くの選手が集結した

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう　著

マンガ・武道のすすめ

相撲は塔尾武夫、住吉和則、下村勝彦、安井和男の4氏を掲載！

B5判・236頁

大人も子どもも読んで読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課まで
TEL 03-3216-5147

青年第１部決勝・大将戦＝酒田（右）が上胴を決める

第 16 普通科連隊（長崎）が団体戦両部門を制覇

青年第１部　第 16 普通科連隊

青年第２部　第 16 普通科連隊Ａ

第54回全日本青年銃剣道大会（主催＝全日本銃剣道連盟）が８月３日、日本武道館で開催された。

試合は、団体戦（３人制）の青年第１部（115チーム）、青年第２部（134チーム）、女子個人戦の部（147名）の３部門で競われ、全国各地の予選を勝ち上がった選手たちが、九つの試合場で熱戦を繰り広げた。

青年第１部では第16普通科連隊（長崎）が11年ぶりの優勝、青年第２部では第16普通科連隊Ａ（同）が初優勝し、両部門制覇を成し遂げた。現行の部門での両部門制覇は第47回大会（平成28年）の第１普通科連隊（東京）以来７年ぶり２チーム目。女子個人戦の部は寒河江瑞希（第３即応機動連隊）が第50回大会（令和元年）以来４年ぶり２度目の優勝に輝いた。

試合はトーナメント方式で、試合時間は３分、三本勝負で争われた。時間内に勝敗が決しない場合、判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとした。

■青年第1部（23歳～29歳、自衛官は23～26歳）

決勝戦は前回大会と同じく、第16普通科連隊（長崎）と第40普通科連隊A（福岡）が相見えた。

▽決勝

16普連	**2―1**	**40普連A**
織田恒太朗	**―上**	**江﨑裕耶**
藤川凌太	**下―**	**河野啄也**
酒田　潤	**上―**	**平山虎太郎**

先鋒戦、織田の技が尽きたところを江﨑が連続技で攻め、上胴で一本を先取。そのまま試合時間が終了し、江﨑が一本勝ちで勝利。

青年第１部決勝・先鋒戦＝
江﨑（左）の鋭い上胴が決まる

中堅戦、巻き返しを図る藤川の攻撃を凌ぎながら、河野も一本を狙う。試合終盤、河野が上胴を繰り出すよりわずか先に、藤川が下胴を捉え、一本勝ちを収めた。

勝負は大将戦に委ねられた。両者慎重な試合運びで、虎視眈々と一本の機会を窺う。互いに有効打のないまま迎えた終盤、平山が飛び込むところを酒田が上胴で捉え、一本。平山は取り返そうと猛攻するも、時間切れ。第16普連が優勝を果たした。

青年第１部決勝・中堅戦＝
藤川（右）が下胴を決める

◎優勝＝16普連・塩釜清彦監督

「去年の雪辱を果たすことができました。今日の優勝は、部隊の協力なしでは達成し得なかったことなので、とても感謝しています。（先に行われた）２部の決勝で仲間のチームが優勝して、それが逆にプレッシャーになったのですが、なんとか優勝できたことは、とても嬉しく思います。来年もこの日本武道館で優勝できるようにさらに稽古に励みます」

■青年第２部（15歳～23歳）

前回大会で準優勝し、悲願の優勝を狙う防衛大学校A（神奈川）と、第16普通科連隊A（長崎）が決勝戦を争った。

▽決勝

16普連A	**2―1**	**防衛大A**
北翔太朗	**下下―**	**内山康平**
山口涼馬	**上―上判**	**山本恵一郎**
山口楓太	**下―**	**北出滉弥**

先鋒戦、北が開始30秒で下胴を決め一本。勢いそのまま北が２本目の下胴を決め二本勝ち。快勝を収める。

中堅戦、流れを引き寄せたい山本が積極的に攻める。山本の技が尽きた一瞬の隙を、山口涼馬が上胴で１本先取し、16普連Aが優勢に出る。主審の二本目の合図の直後、山本が大きく踏み込み上胴を放つと、赤旗が３本あがり見事に一本。攻撃の手を緩めなかった山本が判定勝ち。防衛大Aが優勝へ望みを繋いだ。

勝負は大将戦へもつれ込む。流れに乗る防衛大Aの大将・北出が序盤から攻勢に出る。対する山口楓太は泰然と応じ、北出の攻めを捌く。中盤戦、山口楓太の狙い澄ましたような下胴が北出の打突部位を捉える。16普連Aが優勝に輝いた。

青年第２部決勝・先鋒戦＝北（左）の２本目の下胴

◎優勝＝16普連A・黒﨑徳幸監督

「予選の九州大会で優勝してから、今日の本戦までとてもプレッシャーを感じていました。ですが、出場する選手を信じて頑張ってきたので、優勝できて本当によかったです。最高の気分です。（1部チームの塩釜監督も話したように）部隊長をはじめ、多くの方にご協力をいただいて優勝することができました。来年は、いろいろなチームから対策されることになると思いますが、そういったこともはねのけて、また優勝できるように頑張ります」

青年第２部決勝・中堅戦＝山本（右）が上胴を決める

青年第２部決勝・大将戦＝優勝を決めた山口楓太（左）の下胴

■女子個人戦の部（15歳以上）

決勝戦は、前回準優勝で王座奪還に燃える寒河江瑞希（北海道・第3即応機動連隊）と、初優勝を狙う斎藤彩花（北海道・第26普通科連隊）の北海道対決となった。

▽決勝

寒河江瑞希　上上―上　斎藤彩花

序盤から寒河江が多く攻撃を仕掛け、斎藤に攻撃の隙を与えない展開が続く。連続で技を繰り出す寒河江の打ちかかる瞬間、斎藤が上胴を決め、一本先取。寒河江は焦らず、攻めのペースを維持し続け、斎藤を追い詰めると、試合中盤で放った上胴が見事に決まり、一本。試合は1対1の勝負にもつれ込む。終盤戦、斎藤の体を場外に押し飛ばす強烈な上胴を決め、寒河江が逆転の二本勝ちで悲願の優勝を手にした。

◎優勝＝寒河江瑞希（第3即応機動連隊）

「決勝戦では先に一本を取られてしまいましたが、去年の反省を活かして焦らずに試合をして二本取り返す

ことができました。前回大会の決勝戦で悔しい思いをして、今年は挑戦者の気持ちで試合に臨みました。そのおかげか緊張せず試合ができて、雪辱を果たすことができました。次は2連覇目指して頑張ります」

女子個人戦の部決勝＝一本を取り返し、果敢に攻める寒河江（右）

青年第２部優勝＝第 16 普通科連隊Ａ（長崎）

青年第１部優勝＝第 16 普通科連隊（長崎）

女子個人戦の部入賞者（左から）木村茉鈴、寒河江瑞希、斎藤彩花、森川友紀子

【大会結果】

▼青年第１部＝①第16普通科連隊（長崎）②第40普通科連隊Ａ（福岡）③第12普通科連隊Ａ（鹿児島）、普通科教導連隊Ａ（静岡）

▼青年第２部＝①第16普通科連隊Ａ（長崎）②防衛大学校Ａ（神奈川）③第35普通科連隊Ａ（愛知）、第50普通科連隊Ａ（高知）

▼女子個人戦の部＝①寒河江瑞希（北海道・第３即応機動連隊）②斎藤彩花（北海道・第26普通科連隊）③森川友紀子（静岡・普通科教導連隊）、木村茉鈴（京都・第７施設群）

第57回全国道場少年剣道大会

◎小学生の部

せた魂剣道部（滋賀）初優勝

決勝中堅戦＝せた魂・梅木（右）がメンを狙う

第57回全国道場少年剣道大会が7月27・28日、日本武道館で開催された。小学生の部は674チーム・2022名が参加し、中学生の部は546チーム・1638名が参加した。

初日の小学生の部は、せた魂剣道部（滋賀）が初優勝を果たし、2日目の中学生の部では、九好会A（熊本）が3年ぶり6度目の優勝を果たした。

◇

試合は小学生2分、中学生2分30秒の3本勝負で行われ、勝敗が決しない場合は引き分けとなる。勝者数と総本数が同数の場合は、代表者戦によって勝敗を決する。

■小学生の部

準決勝には、せた魂剣道部（滋賀）をはじめ、須恵剣友会（福岡）、城島少年剣道部（福岡）、五本木武道館A（東京）の4チームが進出し、初優勝を懸けた対戦を行った。

■準決勝①

せた魂剣道部	0	0	城島少年剣道部
先鋒　堀渕友乃	×		坂本琥之人
中堅　梅木彩貴	×		梶原蒼大
大将　辻谷悠太	×		元永康介
〈代表者戦〉			
辻谷悠太	コ―		元永康介

せた魂剣道部と城島少年剣道部の対戦。大将戦後も決着がつかず、代表者戦までもつれ込んだ。代表者戦は、大将戦と同じく辻谷（せた魂）と元永（城島）の対戦。辻谷がコテを奪い、せた魂剣道部が接戦を制して決勝進出を決めた。

■準決勝②

須恵剣友会	1	0	五本木武道館A
先鋒　徳田　湊	×		井村紀満
中堅　鍋倉心絢	×		佐久間優
大将　稲永蒼彩	ド―		中川湧喜

須恵剣友会と五本木武道館Aの対戦。先鋒戦と中堅戦は引き分け。大将戦は稲永（須恵）と中川（五本木）の対戦。稲永がドウを決め、中川の反撃を許さず勝利。須恵剣友会がせた魂剣道部との決勝の舞台に駒を進めた。

■決勝

せた魂剣道部	1	0	須恵剣友会

先鋒　堀渕友乃　×　徳田　湊
中堅　梅木彩貴　メ―　鍋倉心絢
大将　辻谷悠太　×　稲永蒼彩

先鋒戦は堀渕（せた魂）徳田（須恵）ともに攻めるも決め手に欠き、引き分け。続く中堅戦は梅木（せた魂）と鍋倉（須恵）の対戦。梅木がメンを決め、そのまま時間切れとなり勝利。せた魂が貴重な1勝を掴み取る。大将戦は辻谷（せた魂）と稲永（須恵）の対戦。あとがない稲永は果敢に攻めるも一本を奪えず、時間切れで引き分けに終わる。

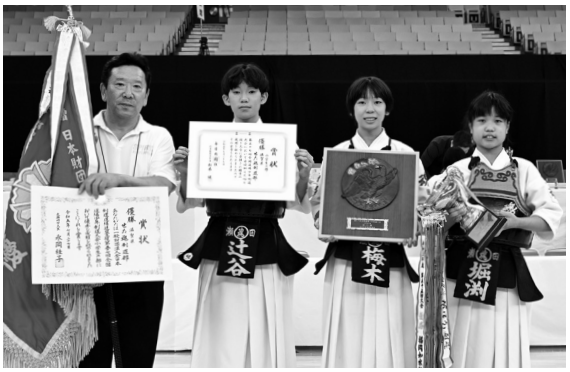
決勝戦を制し、せた魂剣道部が本大会初優勝に輝いた。

◎せた魂剣道部・山中澄男監督

「先鋒の堀渕が2日前まで体調を崩していたので不安はありましたが、体調も回復し、順調に勝ち上がってくれたので助かりました。決勝トーナメント進出を目標にしていましたが、優勝することができてよかったです。次は昨年優勝したスポーツ少年団全国大会で連覇を目指したいと思っています」

◎せた魂剣道部・梅木彩貴選手

「今まで大きな大会で優勝した経験がほとんどなかったので、優勝できてとても嬉しいです。大将戦で勝敗が決まると思っていたので自分の一本で優勝が決まったことにびっくりしました。次はスポーツ少年団全国大会で連覇できるように頑張ります」



優勝＝せた魂剣道部（滋賀）

第３位＝城島少年剣道部（福岡）

準優勝＝須恵剣友会（福岡）

会場では多くの人が観戦した

第３位＝五本木武道館Ａ（東京）

◎中学生の部

九好会（熊本）

6度目の優勝

決勝・先鋒戦＝九好会Ａ・田村（左）がドウを狙う

■中学生の部

準決勝には、第54回大会で優勝し、本大会で6度目の優勝を目指す九好会Ａ（熊本）をはじめ、安浦一心館（広島）、如水館池田道場Ａ（福岡）、志道館学園Ａ（岐阜）の4チームが進出した。

準決勝の結果、九好会Ａと安浦一心館が決勝の舞台に駒を進めた。

■決勝

九好会Ａ　2―1　安浦一心館

先鋒　田村悠善　コ―　橋本洸人

中堅　亀井響紀　コ―　垰田慶斗

大将　石橋智紀　―メ　橋本大治

先鋒戦は田村（九好会）と橋本（安浦）の対戦。試合序盤に田村がコテで先取し、そのまま時間切れとなり勝利。中堅戦も亀井（九好会）が垰田（安浦）からコテを奪ってそのまま勝利を収め、勝者数が2人となったため九好会Ａの優勝が決まった。大将戦は橋本（安浦）が石橋（九好会）から一矢報いるメンを奪い、橋本の勝利。2―1で九好会Ａが優勝に輝いた。九好会は3年ぶり6度目の優勝を果たした。

◎九好会Ａ・〆一司先生

「選手にとってプラスになる大会だったと思います。今後2年間選手たちがどれだけ結果を残せるか、今日の経験をどれだけ活かせるかしっかり考えさせたいと思います」

◎九好会Ａ・石橋智紀選手

「優勝できて嬉しいです。九州大会の団体戦と全国中学校剣道大会の個人戦が残っているので、優勝目指して頑張ります」

優勝＝九好会Ａ（熊本）

第３位＝志道館学園Ａ（岐阜）

準優勝＝安浦一心館（広島）

【大会結果】

◆小学生の部

優　勝＝せた魂剣道部（滋賀）

準優勝＝須恵剣友会（福岡）

第３位＝城島少年剣道部（福岡）

五本木武道館Ａ（東京）

◆中学生の部

優　勝＝九好会Ａ（熊本）

準優勝＝安浦一心館（広島）

第３位＝志道館学園Ａ（岐阜）

如水館池田道場Ａ（福岡）

第３位＝如水館池田道場Ａ（福岡）

○日本武道館の単行本

剣道の文化誌　明治大学教授　長尾　進　著

四六判・上製・480頁・定価2,640円

本書は剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。

剣道　その歴史と技法　埼玉大学名誉教授　大保木輝雄　著

四六判・上製・516頁・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後５年のときを経てついに単行本化。

合気道　その歴史と技法　合気道道主　植芝守央　著

四六判・上製・362頁・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。

空手道　その歴史と技法　小山正辰・和田光二・嘉手苅徹　著

四六判・上製・548頁・定価2640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苅徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苅氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

マンガ・日本武道風土記（上巻・下巻）　漫画家・別府大学客員教授　田代しんたろう　著

B5判・248頁・定価1100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみては。

死ぬまで弓道　弓道教士七段　小牧佳世　著

四六判・上製・342頁・定価2640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ

学校武道の歴史を辿る　筑波大学名誉教授　藤堂良明　著

四六判・上製・354頁・定価2640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

ご注文・お問い合わせ

（公財）日本武道館 月刊「武道」編集部

〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3

TEL 03-3216-5147　FAX 03-3216-5158

https://www.nipponbudokan.or.jp

令和5年度 全日本少年少女武道錬成大会　受賞一覧

令和5年7月16日から8月6日までの9日間にわたって日本武道館で開催された、令和5年度全日本少年少女武道錬成大会の受賞一覧を掲載いたします。

並合気会)、内木小三郎・反町翠（おあしす合気会)、田口花（一蓮合気道会)、加我凛帆･佐藤遙哉･板井晴･仁藤詩和・工藤綾乃・加藤創真・工藤圭市（多摩川合気道会)、阪口友哉・小川叶愛・椎名優衣・小林朔・阪口遥哉・眞下未華子（板橋区合気会)、神本恵・鈴木貴満（板橋合気倶楽部明友会)、井手達望・大須賀康鳳・西山勇次郎・北原康翔・佐々木寛仁・ムラセライアン（合気道三心会)、磯部さつき･磯部あやか（合気道仁昌会)

【神奈川県】古賀一禾・徳留聡一郎（合気道唯心館杉野道場)、瀬川貴博・須藤多実佳・須藤敬良（合気道幸徳会)、大原竜斗・津田麻衣・富室勲也（合気道青葉塾道場)、西尾好由（合気道春水道場)、荒井絢兜・鈴木健太（桜台合気道クラブ)、篠原孝仁・篠原寛庄（春陽会)、島野凰生（合気道野比道場)、猪飼董・山梨蒼一郎（鶴岡八幡宮研修道場合気道)、山本恵多（藤沢合気道倶楽部)、中堀紗良・渡邉可憐・川渕稜世（合気道相模和道会)、橋本柊士（合気道高城道場　合気道わんぱく道場)、仲宗根良守心・大渕行弘（綾瀬市・海老名市合気会)、長塩幸希・石渡柚紀子（秦野武産合気会)、三田峻太郎（よみうりカルチャー横浜ジュニア合気道教室)、宮下陽佐（青葉台カルチャープラザ合気道教室)、渡部樹･三舟舞妃菜（葉山町合気会)、中田武秀（合気道金沢クラブ)

【静岡県】高島慶（裾野合気会)、金井美桜･清萌香（合気道石芯塾)、北畠咲耶･篠原颯･榊原笙真･望月美花･鯨井湊介（啓翔会)

【愛知県】武山怜生・石川麻尋（小牧合気会)

【京都府】西清志郎（合気道入江道場)

【大阪府】小泉結愛・小松薙佳・東二胡・小西柚音・奥山克斗･平野遥香･浜田悠希･小西茉莉彩･山野紗良･川﨑貴翔（合気道正勝会)、馬場彩・馬場琉之介・三島歩真･畑部友政･花房芽依･熊取谷斗羽･熊取谷心羽･堀はなみ・三島歩華（合気道大阪東武育会)

【兵庫県】堀内渓登・今田愛良（相生会にしのみや合気道クラブ)

【奈良県】河部惺・桑原琉里・三好輝・松田英希・宮﨑碧葉・増山奏良（奈良合気会)、谷相泰一朗・菊本盟子･髙田知里･大田司（合気道西大和会)、北晃季（合気道三錬会)

【岡山県】小西爽友（倉敷天領塾)、矢山和花（倉敷市立西中学校合気道部)

【広島県】岡本一真・山口真季子（合気道広島会ひとみ幼稚園長束道場)、勝浦美歩・勝浦優美・杉田知謙・杉田知優（合気道二葉教室・HIJIYAMA 教室)

【長崎県】上戸壮介（合気道悠歩塾)

合気道 ――＜努力賞＞

【岩手県】遠藤実唯奈・佐川李々穂・佐川遼貴（合気道奥州道場）
【宮城県】八重樫穂高（合気道真眼会）
【山形県】藤田優斗（合気道真室川道場）
【福島県】鈴木靖杷（合気道須賀川道場）
【茨城県】奥村幸弘（つくば牛久合気道友会）、小松﨑優陽（江戸崎合気会）、山下結愛・小田島史佳（取手市合気道スポーツ少年団）、冨岡奏音・平澤周・白石大揮（ひたちなか市合気道少年団）、長谷川和成・楓佑太・深谷祐太・村木雪琉・村木琉聖（岩間合気道スポーツ少年団）、仁田創太・加倉井光（東海合気道少年団）、小野瀬裕真（那珂湊合気道少年団）、西村望（笠間市体協合気道部笠間教室）
【埼玉県】谷畑晄平・溝口雄士・鈴木祐登・稲毛ひなた（合気道浦和尾又道場）、須藤快人（大成合気道会）、杉岡昌橙（蕨合気道会）、新井柚絆・菊島結香・二川希美・大塩律夏・荒井涼葉・西原花歩・新井巧実・菊島舞香（無為会）、江上覚万・長谷川千太郎・長塚陽斗（ビタース合気道クラブ）、金井惟・杉山怜・高田一仁（合気道大宮道場）、小山竣輔・佐々木丈瑠・木村拓翔・須賀啓太・佐々木琉悟・小山智陽・恵木遥翔・稗田晃介・須賀香凛・阿部陸斗・稗田颯太（草加合気道研究会）、中村夏粋（日高市合気道同好会）、神尾柚希・荒木伊織・伊東靖晄・増田有紀久（合気道研心会）、石井晴太・片岡葵（狭山市合気道教室）、黒澤未来・川島瑶（合氣道修練道場自然館）、田代水葵（合気道和光道場）、八城稜（志木合氣会）、吉田彩芽（合氣道神明塾）、平原彩弥音（合氣道明心会）、平沢恵（入間幸武館道場）、堀部瑛嵐（新所沢合氣道同好会）、多ケ谷郁斗・佐藤蒼真（白岡合気会）、髙柳翔（合氣道健武館）、川上紗楠・中野結里愛（東松山合気道クラブ晴和会）
【千葉県】柏倉萌彩・外﨑拓斗・山崎莉子・岩田結咲・牛原智滉・基太村葉奈・立本裕菜・福田蓮・太田遼一・柏倉夢彩・メンドーザライゼン（千葉市立椿森中学校合氣道部）、安田悠乃・大野鼓（合気道花見川道場）、山本陽登・西本伍希・西田泰希・菊地将史（合氣道弘龍會明心館道場）、川瀬雄大・池田樹世（我孫子市合氣道スポーツ少年団）、尾花桂都・中村野々・口村美空（船橋合気会）、林玲伊・永沼優太・奥野希遥・阪野空翔・坂谷友果（朋清会白井道場）、栗木智紘・宮城島亘・倉持ひより・栗木すみれ・中島隼介・中島蓮介・川崎結菜・新村あらた（合気道正心会）、矢野謙斗（八千代市合気道連盟）、大角あかね・近藤隆晴・板谷飛佑・眞﨑一将・河岸樹生・山本一之介・前田凛乃・小川あい・薗部椛恋・河岸柚花・山本瑛太・西村龍桜・大田紘生（流山合気会）、阿部彩佳（銚子合気道会）、土井美月・土屋博暉・土井結月（合氣道松心館）、座間咲良・今井璃七（柏合気会少年部）、筒井楓（合氣道明心館スポーツ少年団）、佐久間咲奈・佐久間晴己（北総合気会山武道場）
【東京都】友野真備・山田菫・福谷茉歩・中林武大・瀧本一桂（中央区合気会）、竹田奈央・福村莉彩（合気道宇宙の会）、西野優凛・山村実乃（文京区合気会）、岩本亨士・林大翔・岩田悠希・山﨑輝生・魚躬麻希・冨永幸太郎・中川雲太・谷口星隠（荒川合気会）、川角匠人・鈴木弥々花（合氣道順風会）、鹿野二葉（合気道石田塾）、安藤舜（葛飾合気会）、植田奏波・富永理央（合氣道土井道場）、佐藤心・佐藤蒔咲（城東誠和会）、田中心望（新小岩合気会）、市橋実空・小島依桃・川上岳琉・岩田真由子・那須健人（合氣道木下道場）、首代武・山本清尊・山本怜果・荒谷しほり・首代桜・中野勇琉・梅林果穂（合気道向日葵道場）、山下晴政（三中合気道会）、三枝和華子・小島治樹（西馬込合気道会）、尾﨑来夢・島柚帆（大田区合気道会）、岩下直哉・田口瑛仁（明治神宮武道場至誠館）、為貞翔太・簗瀬武良允（守清館）、渡辺樟馬・齋藤蒼介・大塚咲斗・藤井瞳衣・寺田正央史（合気道れいめい会）、熊本睦己・麻場尚（祖師谷合気会）、村山蓮・平田一護・瀬古結子（朋清会）、眞山怜・細川望美・稲澤ひなた・吉田藍・田中瑛介・中山裕大郎・有地悠真・芳賀アンソニー海斗・渡部蒼太郎・鈴木悠太・伊東柚香・下出和花・小野奏亮・黒木健太・佐藤木綿子・佐藤琥珀・松本淳志（合気道自由が丘道場）、首藤裕太（荻窪合気道同好会）、譲原慎司・大田原拓磨・廣岡新・鈴木咲也子・松元咲樹・太田十斗・石田あおば・須長采音（月窓寺道場）、内田梨和子・小畑侑久・小山暁輝・長澤梢ラウラ・諏訪雄大・安西風雅・小山瑞季・伊達萌・小田栄信・野中はな・安西椎馬・石神隼人・清水琥太朗・椎葉明主虎・大石時久（合気道新川塾）、石原圭吾・伊藤麻美・鶴間景太・石原ゆい（春風合気道会）、近棟文香・小畑旭陽・嶋田結綺・木下友登・土屋蒼海（仲池合氣道同好会）、武田花（調布合気道会）、菱田陽生・林大耀（東村山市合気道会）、山﨑玉葉・和田善士朗（合気道「倫」）、福士寛（穎明館中学高等学校合気道部）、竹若春乃・三好音羽（東大和市合気道会）、宮本千尋・宮本芽衣・宮本希子（鷹の台合氣道同友会）、倉島弥和・高江快成（合気道本部道場少年部）、佐藤俊武根（東村山合気道クラブ）、糟谷優衣（武蔵村山合気道会）、春日井絢都・Xaxandyra Macdonald・山田一輝（千住合気会）、山下十和之介（竹の氣クラブ）、佐原悠介・能美一輝・小宮温・鈴木啓太・溝口ひより（杉

弓　道　7月17日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
鹿児島市立松元中学校A（鹿児島県） 宇都宮市立鬼怒中学校B（栃木県）	岩舟中学校A（栃木県） 北犬飼中学校B（栃木県）	豊田市立藤岡南中学校B（愛知県） 矢板市立矢板中学校A（栃木県） 宇都宮市立一条中学校A（栃木県） 八代市立第一中学校（熊本県）	鹿児島市立松元中学校A（鹿児島県） 豊田市立藤岡南中学校B（愛知県）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上）　13チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
宇都宮市立鬼怒中学校A（栃木県） 南指宿中学校（鹿児島県）	愛知県豊田市立朝日丘中学校A（愛知県） 名古屋大学教育学部附属中学校（愛知県）	北犬飼中学校A（栃木県） 宇都宮市立一条中学校A（栃木県） 慶應義塾湘南藤沢中等部A（神奈川県） 豊川市立南部中学校（愛知県）	宇都宮市立鬼怒中学校A（栃木県） 北犬飼中学校A（栃木県）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上）　15チーム		

剣　道　7月22日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	習志野武道館（千葉県）	本郷道場（千葉県）	上田市剣道スポーツ少年団中央分団（長野県）	林剣道スポーツ少年団（香川県）
第2ブロック	東松舘道場（東京都）	福島中央剣友会（福島県）	貝塚市剣道スポーツ少年団（大阪府）	御幸剣道クラブ（栃木県）
第3ブロック	解脱錬心館（埼玉県）	聖武会（兵庫県）	豊中寺内剣友会（大阪府）	三剱会（大阪府）
第4ブロック	北習志野高郷剣友会（千葉県）	桜南剣友会（埼玉県）	聖和剣道友の会（大阪府）	たからづか剣道会（兵庫県）
第5ブロック	上の台剣友会（千葉県）	磯子警察署少年剣道推進会（神奈川県）	蔵の街剣志会（栃木県）	北条剣友会（大阪府）
第6ブロック	高島平剣仁会（東京都）	南平剣友会（東京都）	練兵館（栃木県）	妙武館高麗道場（埼玉県）
第7ブロック	新狭山剣志会（埼玉県）	鬼高剣友会（千葉県）	山口剣友会（福岡県）	新松戸南剣幸会（千葉県）
第8ブロック	清野秀武舘倉石道場（長野県）	北本剣士会（埼玉県）	山梨健心館（山梨県）	尾島剣道部（群馬県）

7月23日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	都岡剣友会（神奈川県）	凌雲館村雲道場（富山県）	東金町剣道クラブ（東京都）	忠岡剣友会（大阪府）
第2ブロック	新風館（千葉県）	武徳館剣道教室（愛知県）	春日市筑葉会（福岡県）	新小岩剣友会（東京都）
第3ブロック	宝塚剣道円心会（兵庫県）	権堂少年剣友会（長野県）	高井戸警察署少年剣道会（東京都）	江戸川報徳会（東京都）
第4ブロック	いばらき少年剣友会（茨城県）	和歌山武道館剣道錬成クラブ（和歌山県）	鍾念道場（愛知県）	樽井一究道場（大阪府）
第5ブロック	豊中小曽根剣友会（大阪府）	南輝剣道スポーツ少年団（岡山県）	北総中央剣友会（千葉県）	桶川剣友会（埼玉県）
第6ブロック	昇龍館一福道場（岡山県）	剣心会（兵庫県）	新宮剣志館（兵庫県）	川崎真道館道場（神奈川県）
第7ブロック	大村市剣道協会（長崎県）	大野中央剣道スポーツ少年団（福岡県）	広島西風道場（広島県）	福田道場（岡山県）
第8ブロック	千葉南武館（千葉県）	錬心舘市原道場（千葉県）	沖縄警察署スポーツ少年団（沖縄県）	十河剣道スポーツ少年団（香川県）

空手道

7月29日開催

小学１・２年生の部

優秀賞	努力賞
晴桜塾（東京都） 目黒空手インターナショナル A（東京都）	川口空手アカデミー A （埼玉県） 日本空手道海真館 （神奈川県） 日本空手道一空会マリン空手クラブ A （埼玉県） 目黒空手インターナショナル B （東京都） 川口空手アカデミー B （埼玉県） 尚心派糸東流拳心会 B （東京都） 清原空手道スポーツクラブ （栃木県） 総合武道松武会 （東京都）
優良賞	
教空会空手道場（東京都） 空手道一心塾（千葉県）	
敢闘賞	
明桜塾（千葉県） 千葉拳成会 B（千葉県） 日本空手道泊親会川崎（神奈川県） 明林館 A（神奈川県）	

小学３・４年生の部

優秀賞	努力賞
一般社団法人日本空手道道場会文壽会 A（東京都） 目黒空手インターナショナル A（東京都）	修交会豊田 （愛知県） 日本空手道一颯会 A （神奈川県） 普現流空手道 （愛知県） 誠明館 （神奈川県） 拳剛会 （千葉県） 拳勝館鎌倉支部 A （神奈川県） 空手道一心塾 （千葉県） 日本空手道拳勝館 （神奈川県）
優良賞	
聖心館葉山 A（神奈川県） 剛柔会正剛道場（静岡県）	
敢闘賞	
茂原武道館（千葉県） 川口空手アカデミー（埼玉県） 尚心派糸東流拳心会（東京都） 養正館 A（静岡県）	

小学５・６年生の部

優秀賞	努力賞
一宮 A（千葉県） 全日本空手道連盟糸東会千政館愛知支部天空会 A（愛知県）	日本空手道一空会マリン空手クラブ （埼玉県） 空手道研究会武村塾 A （東京都） 蒼凜会 （千葉県） 日本空手道泊親会川崎 A （神奈川県） 清原空手道スポーツクラブ A （栃木県） 正武館空手道場 （東京都） 全日本空手道連盟糸東会聖伸館 A （千葉県） 川口空手アカデミー B （埼玉県）
優良賞	
養正館（静岡県） 明桜塾（千葉県）	
敢闘賞	
蒼鷹会空手道教室（東京都） 全日本空手道連盟糸東会千政館愛知支部天空会 B（愛知県） 日本空手道泊親会川崎 B（神奈川県） 日本空手道海真館（神奈川県）	

中学生男子の部

優秀賞	努力賞
皆思道場（東京都）	日本空手道拳勝館 （神奈川県） 剛柔流空手道錬心会 （埼玉県） 日本空手道海真館 （神奈川県） 拳勝館西湘支部 （神奈川県）
優良賞	
西谷道場 A（神奈川県）	
敢闘賞	
誠明館 A（神奈川県） 正武館空手道場（東京都）	

中学生女子の部

優秀賞	努力賞
西谷道場 A（神奈川県）	拳勝館六会支部 （神奈川県） 拳剛会 （千葉県） 空手道研究会武村塾 （東京都） 西谷道場 B （神奈川県）
優良賞	
如水会川崎（神奈川県）	
敢闘賞	
明桜塾（千葉県） 如水会川崎（神奈川県）	

柔　道

7月30日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第１ブロック （低学年）	紅柔道クラブ（千葉県）	有明柔道クラブ（東京都）	下館武道館（茨城県） 弥刀少年柔道クラブ（大阪府）
第２ブロック （低学年）	岡豊ジュニア柔道クラブ（高知県）	六郷道場（愛知県）	瑞浪修徳館（岐阜県） 高月柔道スポーツ少年団（滋賀県）
第３ブロック （低学年）	錬心館岡野道場（千葉県）	鈴木道場（東京都）	隅田柔道塾（東京都） 宇治柔道会（京都府）
第４ブロック （低学年）	川口市柔道連盟クラブ（埼玉県）	山武柔道西塾（千葉県）	東京拘置所少年柔道クラブ（東京都） 社柔道少年団（兵庫県）
第１ブロック （高学年）	幸心会正善館（奈良県）	県営富山武道館（富山県）	五十嵐道場（埼玉県） 世田谷柔道クラブ（東京都）
第２ブロック （高学年）	大石道場（愛知県）	高石市柔道スポーツ少年団（大阪府）	舞鶴柔道クラブ（茨城県） 川口市柔道連盟クラブ（埼玉県）
第３ブロック （高学年）	宇治柔道会（京都府）	向原柔道クラブ（東京都）	喜多道場（埼玉県） 松阪市武道館柔道教室（三重県）
第４ブロック （高学年）	朝飛道場（神奈川県）	修心塾道場（岐阜県）	大宮立志塾（埼玉県） 広畑柔道教室（兵庫県）

銃剣道

8月2日開催

団体試合錬成

区　分	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学５・６年生	滋賀高島市銃剣道少年団（滋賀）	鳥取県立武道館（鳥取）	飯島銃剣道クラブ（長野）	北風（北海道）
中学生	元気道場Ａ（新潟）	北風Ａ（北海道）	名寄ピヤシリ銃剣道少年団（北海道）	佐賀県選抜（佐賀）

銃剣道個人試合錬成

区　分	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年生	宇恵心春（小奴可剣友会）	室井辰哉（船橋武道倶楽部）	木村光佑（元気道場）	滝沢舞桜（元気道場）
小学３・４年生	大桃明日花（元気道場）	谷伊織（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	木下健（小奴可剣友会）	酒井大輝（飯島銃剣道クラブ）
小学５・６年生	前川惺（滋賀高島市銃剣道少年団）	外尾海悟（佐賀県選抜）	酒井陽稀（飯島銃剣道クラブ）	南脇蓮（都城少年少女銃剣道クラブ）
小学5･6年生女子	市川楓（滝川少年銃剣道クラブ）	光野七海（滝川少年銃剣道クラブ）	足澤誉華（鳥取県立武道館）	根塚愛菜（美幌銃剣道少年団）
中学１年生	外尾海青（佐賀県選抜）	水谷凌也（滝川少年銃剣道クラブ）	橋本拓実（福井県立武道館）	南脇新大（都城少年少女銃剣道クラブ）
中学２・３年生	長岡希空（元気道場）	大桃紘都（元気道場）	根塚光星（美幌銃剣道少年団）	藤谷匠吾（瑞穂総合クラブ）
中学生女子	西村歩育（佐賀県選抜）	平松花音（本間道場）	橋本真莉菜（山梨博真館）	園田侑生（都城少年少女銃剣道クラブ）

短剣道個人試合錬成

区　分	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年生	藤枝幸大（船橋武道倶楽部）	寺村真尋（九徳塾）	室井辰哉（船橋武道倶楽部）	永久晃継（本間道場）
小学３・４年生	谷伊織（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	鹿又結衣（船橋武道倶楽部）	橋本翼（船橋武道倶楽部）	加古拓也（須賀川市銃剣道少年団）
小学５・６年生	前川惺（滋賀高島市銃剣道少年団）	小林蔵音（真庭道場）	田中悠聖（鳥取県立武道館）	石橋威風（宇都宮銃剣道クラブ）
中学生	阿部龍二（紫波銃剣道クラブ）	橋本美羽（船橋武道倶楽部）	丸山智輝（元気道場）	朝日田鳳（紫波銃剣道クラブ）

なぎなた

8月6日開催

演技競技の部

区　分	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年	星凜花・渡邊咲仁 (会津なぎなたスポーツ少年団)	菊地ひかり・道合真梨 (一戸町なぎなた協会)	村上実玲・竹山いちか (弥富市なぎなた連盟)	山下葵・野村凪 (弥富市なぎなた連盟)
小学３・４年	池田みちる・中島綾香 (江東区なぎなた連盟)	池田ひかり・窪田紗夕 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	髙見知依・加藤巴御 (岡山県なぎなた連盟)	丸逢理・丸笑理 (富津市なぎなた連盟)
小学５・６年	今村茉莉恵・熊澤紗彩 (鎌倉市なぎなた連盟)	中村藍璃・田中美鈴 (一戸町なぎなた協会)	後藤夕奈・岸野桃々 (豊島区なぎなた連盟)	奥田麗奈・横山愛佳 (奈良市なぎなた連盟)
中学Ａ	伊藤心音・山中彩葉 (会津なぎなた連盟)	室井優・山口穂乃佳 (会津なぎなた連盟)	七森結・田部紗采子 (新潟県なぎなた連盟)	安住莉野・太田代和奏 (榴岡なぎなた教室)
中学Ｂ	室井彩良・稲川舞 (会津なぎなた連盟)	高島あんじ・山本美帆 (鯖江なぎなたクラブ)	宮崎真菜・金谷理央 (南砺市立福野中学校)	細井理央・岩崎晏佳 (清教学園中学校)
中学Ｃ	安藤美里・新妻楓乃音 (会津なぎなた連盟)	菖蒲樹吏愛・大木千代 (弥富市なぎなたクラブ)	菊平七生・柴田華子 (大垣市立星和中学校)	寺西実紅・森田初音 (南砺市立福野中学校)
中学Ｄ	清島加恋・百島瑠那 (南砺市立福野中学校)	下里雛之・別所采奈 (三重武道館クラブ)	田上ほのか・禾知華 (神奈川大学附属中学校)	早瀬日菜・清水芽生 (鯖江なぎなたクラブ)

試合競技の部

区　分	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学３年	杉本凜花 (足立区千徳クラブ)	佐藤眞 (宇都宮市なぎなた連盟)	山本純名 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	伊藤光咲 (弥富市なぎなた連盟)
小学４年	白井結 (四日市なぎなたクラブ)	佐伯ももか (すみれ会)	青木玲 (港区玉恵会)	佐藤美采 (榴岡なぎなた教室)
小学５年	竹谷綾 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	南和穂 (江東区なぎなた連盟)	山本琴音 (斐川スポーツ少年団)	守本奈央 (愛知県武道館クラブ)
小学６年	平田彩晶 (養徳館)	治郎丸美聡 (養徳館)	北村陽菜 (島根県なぎなた連盟)	松岡知宙 (愛知県武道館クラブ)
中学１年	濵本あみか (嬉野なぎなたクラブ)	坂田千花彩 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	吉田理桜 (武陵館中嶋道場)	成瀬日和 (和歌山県なぎなた連盟)
中学２年	塘彩矢佳 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	徳島愛 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	和泉咲良 (清教学園中学校)	河合真那 (南砺市立福野中学校)
中学３年	佐藤さなみ (鯉城なぎなたクラブ)	村上実音 (山形三中クラブ)	駒井志穂梨 (清教学園中学校)	中屋敷夏花 (一戸町立一戸中学校)
小学男子３・４年	七森大成 (新潟県なぎなた連盟)	福林道博 (中野区なぎなた連盟)	藤江快成 (弥富市なぎなた連盟)	鈴木尊照 (幕張なぎなたスポーツ少年団)
小学男子５・６年	小堺鉄馬 (新潟県なぎなた連盟)	北謙信 (一戸町なぎなた協会)	野田創一朗 (西原なぎなたクラブ)	白畑光成 (一戸町なぎなた協会)
中学男子	鈴木秀岳 (川崎市なぎなた連盟)	伊藤弥路久 (羽島市なぎなた協会)	平田煌 (養徳館)	菅原壮真 (山形市立第四クラブ)

小曽根幸也・酒井遼（蕨市スポーツ少年団）髙野聡大・木村啓太郎（埼玉神川スポーツ少年団）海沼孟宗・田部井陽樹、海沼元寅・近藤航（東京西品川道院拳友会）大西陽輝・児玉燦（南中野道院拳友会）足立菜摘・養父さくら（武蔵国分寺スポーツ少年団）沼田橙葵・秋山静梨華（秦野道院拳友会）谷川満音・金子凜々（川崎柿生道院拳友会）長谷川のぞみ・堀宇一朗（横浜金沢文庫スポーツ少年団）中沢瑠那・奥原克斗（塩尻スポーツ少年団）八田知咲・小倉詩音（名古屋太子道院拳友会）山崎春・鈴木智子、永田丈琉・徳田恭実（名古屋なるこ道院拳友会）大村航太郎・能田航希（伏見丹波橋スポーツ少年団）秋山希叶・岡本悠那、森草介・中西晴琥、秋山叶太・中西望夢（琴弾道院拳友会）

≪規定単独基本演武≫

◆小学生３級～１級の部

大沼蒼空（宮城大河原道院拳友会）山内ひかり、荒畑昊生（青葉道院拳友会）矢吹碧唯、関根颯来（福島鮫川道院拳友会）伊藤煌太郎（茨城神栖スポーツ少年団）赤津奏人（茨城石岡道院拳友会）磯結人、山邊湊斗（伊勢崎東道院拳友会）丹内結愛、矢口悠聖、石川琳彩（群馬多々良道院拳友会）花香東維（波崎スポーツ少年団）山本楓、阪本裕紀（千葉市海浜スポーツ少年団）田口大耀（千葉清見台道院拳友会）星野新（市川若宮道院拳友会）西島一陽（取手南道院拳友会）貝田一翔（埼玉三ケ島道院拳友会）秋谷洸瑠（埼玉川島道院拳友会）佐橋勇人、須田さにい（東京王子道院拳友会）上ノ郷谷岳治（東京錦糸道院拳友会）土屋光史郎（東京桜台道院拳友会）谷津直璃（東京西品川道院拳友会）熱田亥玖（東京足立東和道院拳友会）内畠寿々之輔（東京飛鳥道院拳友会）池野銀太（南中野道院拳友会）井上蓮介（八王子陵北スポーツ少年団）松田瑛美花（神奈川大和道院拳友会）大木要二、大木三葉（秦野道院拳友会）吉川峻華（相模原上溝スポーツ少年団）太田煌希（相模大野道院拳友会）大木耀（袖ヶ浦長浦スポーツ少年団）小畑凛空、古澤涼聖（鶴見潮田道院拳友会）阪口仁貴（福井新田塚道院拳友会）新谷岳（信州宮田生涯教育スポーツクラブ）神田凛理人（塩尻スポーツ少年団）梶彩未（塩尻スポーツ少年団）下所寛之（富士南道院拳友会）中西広夢（伏見丹波橋スポーツ少年団）辻本花穂（和歌山西庄スポーツ少年団）

◆小学生４級の部

菊間祐仁（榛東スポーツ少年団）佐藤星磨（長井南道院拳友会）岡本牡丹（渋川道院拳友会）設楽遥香（前橋中部道院拳友会）中野智晴（市原有秋東スポーツ少年団）伊花佑（市川若宮道院拳友会）鈴木英依樹（守谷市スポーツ少年団）吉橋由翔（入間藤沢道院拳友会）岡村春輝（埼玉入間道院拳友会）桑原昇汰（埼玉武道館）佐藤駿丞（東京月島道院拳友会）大黒颯真（東京西品川道院拳友会）菊地晶（日野南平スポーツ少年団）大屋拓未（鶴見潮田道院拳友会）亀山煌世（神奈川大和道院拳友会）大沼蓮（川崎幸スポーツ少年団）野村栞（郡内富士スポーツ少年団）

◆小学生６級～５級の部

高橋宏丞（青葉道院拳友会）谷村陽向、田村一翔（仙台西道院拳友会）菅野美空、菅野太志（いわき中央台スポーツ少年団）永井千尋（ひたちなか市湊スポーツ少年団）米村直人（茨城神栖スポーツ少年団）小林冬虎、矢口栞帆（群馬多々良道院拳友会）佐藤茜寧（伊勢崎東道院拳友会）設楽陽佑（前橋中部道院拳友会）宮内菜乃葉、田村総一郎（千葉海匝道院拳友会）山野大都（千葉山王道院拳友会）髙野穏（草加道院拳友会）遠坂泰来（武蔵浦和道院拳友会）木村百花（行田南道院拳友会）田口青空（埼玉和光道院拳友会）工藤日向（習志野台スポーツ少年団）五十嵐朔太朗（武蔵嵐山スポーツ少年団）藤村亮太（多摩桜ヶ丘道院拳友会）清野百合子（東京王子道院拳友会）狩野鈴奈（東京蒲田道院拳友会）八尋英佐（東京上北沢道院拳友会）笠原貴久（東京清瀬元町道院拳友会）高瀬葵（東京石神井道院拳友会）鈴木理人（日本武道館武道学園）土門虹菜（鶴見潮田道院拳友会）高橋円佳（神奈川大和道院拳友会）楠愛梨、庄司すず（川崎西道院拳友会）森藤弘陽（川崎東道院拳友会）関口幸村（小須戸スポーツ少年団）櫻井靖之助、櫻井創二郎、嶋田匡希、原京志朗、所澤燈向（信州宮田生涯教育スポーツクラブ）高桑向世（諏訪市スポーツ少年団）石田愛莉（沼津香陵道院拳友会）嶋崎真広（近江日野スポーツ少年団）泉日佳梨（東大阪中央道院拳友会）巽柊真、山崎郁真（奈良郡山城道院拳友会）清水咲生、岡本真歩、古久保いち夏（南部スポーツ少年団）前河土幸也（和歌山西庄スポーツ少年団）中野優輝（徳島北島スポーツ少年団）西村緩介（西原スポーツ少年団）

◆小学生見習～７級の部

櫻井逸翔（青葉道院拳友会）石村莉愛（仙台宮城野道院拳友会）高橋改（仙台西道院拳友会）高橋唯（仙台泉道院拳友会）三浦桃音（仙台東道院拳友会）小西尚仁（流山市スポーツ少年団）山浦希一、平田明花莉（習志野台スポーツ少年団）太田樹希（千葉おゆみ野スポーツ少年団）杉浦功晟（千葉花見川スポーツ少年団）伊藤希子、浪川志歩里（千葉海匝道院拳友会）山井さくら（千葉山王道院拳友会）岡川恵士（袖ヶ浦長浦スポーツ少年団）角田泰地（行田南道院拳友会）中山一也（埼玉神川スポーツ少年団）秋田向日葵（埼玉飯能道院拳友会）前田夏未（埼玉武道館）岡﨑頼武（武蔵嵐山スポーツ少年団）黒瀬勘九朗、榊原弘喜（草加道院拳友会）佐藤和生（多摩桜ヶ丘道院拳友会）加藤瑞希（多摩豊田道院拳友会）大名真希子、溝口柚葉（東京王子道院拳友会）山根佑太、狩野鈴士郎（東京蒲田道院拳友会）新家正悠（東京月島道院拳友会）中森弓稀（東京桜台道院拳友会）石田暁大、中川創平（東京上北沢道院拳友会）太田凜星（東京清瀬元町道院拳友会）齋藤樹（東京西品川道院拳友会）境野陽人（東京石神井スポーツ少年団）鈴木紘都、島田茉采（東京飛鳥道院拳友会）田邊永和、田邊瑞夏（横浜あざみ野スポーツ少年団）原田泰希（横浜都筑道院拳友会）清田留衣（横浜緑園西スポーツ少年団）田近拓真、衆本堇（新宿大久保スポーツ少年団）岡暁玄（川崎幸スポーツ少年団）藤井玲和、船越心晴（川崎西道院拳友会）芳池朔、嶋田樹人（信州宮田生涯教育スポーツクラブ）杉山結珂（富士南道院拳友会）牧野湊（名古屋太子道院拳友会）小林覚愼（愛知東浦道院拳友会）小室咲門（伏見丹波橋スポーツ少年団）巽優晴（奈良郡山城道院拳友会）中西巧（西原スポーツ少年団）

≪団体演武≫

◆中学生の部

渡邉空、斧林莉子、西中美咲、阿部眞子、吉田祐菜、藤井佑香（早稲田実業）和田ゆりあ、藤本凪、鬼頭由奈、竹山桜子、竹山橙子、大原琉愛（一宮中部道院拳友会）吉田舞衣、西山はな、渡部実緒、土井和枝、山村柚乃、佐々木帆里（加住小中学校）青野心優、加藤優杏、髙根澤あおい、幡柚希、小澤心香、島田和佳、齋藤吏玖、大津稜馬（清真学園）森川詠太、古田廉之介、城田健太朗、近藤晴望、玉田照、三浦奏太朗、水野俊、藤田晃誠（豊明西川スポーツ少年団）

◆小学生の部

後藤望音、村上紗唯、梶川湊、大橋穂乃椛、近藤桜凪、髙松咲子（豊明東道院拳友会）佐藤蘭、小野椋太、成田陽、鈴木悠絆乃、川上綾弥、牧野うた（名古屋太子道院拳友会）岡田莉奈、早田壮良、久保木大智、藤原圭佑、山井貞治、小池紬（千葉山王道院拳友会）水野怜、加藤凛久都、髙松壮悟、上野朝陽、梶川三太、村上世凪（豊明東道院拳友会）小林七海、小林千夏、三宅耕太郎、澄川貴一朗、小山内昊、石島諒典（我孫子道院拳友会）

少林寺拳法 ――＜優秀賞＞

≪規定組演武≫

◆小学生１級

李夏陽･高橋葵子（仙台西道院拳友会）渡部奏汰･安藤優希（茨城神栖スポーツ少年団）菅藤陽･岡田進太郎（鹿島港南スポーツ少年団）中山凜々子・髙澤直、今泉芽久・今泉澪（前橋橘道院拳友会）澤田翔生・山口千就（東京石神井道院拳友会）中村友南・谷津凜々花（東京西品川道院拳友会）安原陽太・鈴木理孔（板橋加賀スポーツ少年団）横山沙門・青木良磨（小田原道院拳友会）一柳美緒・藤井壮司（川崎西道院拳友会）

◆小学生２級

白出絢聖・澁谷宗汰（多賀城城南道院拳友会）長谷川歩希・竜野櫂士（仙台東道院拳友会）矢作瑛武・赤佐奏和（市川若宮道院拳友会）熊谷温音・永澤晃樟（船橋西部スポーツ少年団）平井楓人・齋藤琉生（武蔵嵐山スポーツ少年団）坂本依蕗・天羽陽聖（東京西品川道院拳友会）熱田凜帆・池西珠琴（東京足立東和道院拳友会）秋山風雅・陣野史絆（秦野道院拳友会）瀬戸健仁・松井田梨玖（川崎幸スポーツ少年団）吉田爽真・能田将吾（伏見丹波橋スポーツ少年団）清水須陽・中村斗弥（南部スポーツ少年団）

◆小学生３級

武田実生・佐藤研、相澤和花・千葉結井（青葉道院拳友会）小野柚希・太宰心花（多賀城城南道院拳友会）金盛有真・朝生元太朗（埼玉入間道院拳友会）大渕羽雲･秋田一琉（埼玉飯能道院拳友会）児玉理九･吉田鼓唱（南中野道院拳友会）草木義織･吉村桧（八王子高尾スポーツ少年団）小保田創介・ブラウン仁亜（川崎柿生道院拳友会）米山愛莉・加藤惺地（名古屋太子道院拳友会）鎌谷匠馬・斎藤然（伏見丹波橋スポーツ少年団）藤本楓賀・水本昇志（伊予八幡浜道院拳友会）

◆小学生４級

佐藤未桜・斉藤慎（秋田湯沢スポーツ少年団）児山空飛・保母恭輔（伊勢崎東道院拳友会）雨宮瑠斗・阿久津勇気（群馬北毛道院拳友会）高澤譲・中山隼吾（前橋橘道院拳友会）坪上瑞樹・山田伊織（野田川間道院拳友会）羽鳥哲聖・佐々木篤郎（埼玉中部道院拳友会）松江悠詩・松江奏佑（朝霞道院拳友会）高野恒平・松下大雅（所沢竜王道院拳友会）岩坪大智・新井誉良（武蔵浦和道院拳友会）小曽根桃香・加藤愛菜（蕨市スポーツ少年団）原優翔・森創一朗（埼玉武道館）五十嵐凛太朗・岡崎吉彦、山崎結翔・野中咲杜（武蔵嵐山スポーツ少年団）今村眞宙・田中茜（光が丘スポーツ少年団）深谷優希・モリーナ大俐雄（八王子陵北スポーツ少年団）千野桜子・千野桃奈（武蔵国分寺スポーツ少年団）瀬谷琳・瀬谷慶（小田原道院拳友会）望月海翔・鈴木貫太（清水袖師道院拳友会）末木龍仁・松井田莉南（川崎幸スポーツ少年団）

◆小学生５級

佐藤万緒・平山京香（青葉道院拳友会）三浦英之助・吉橋仁（多賀城城南道院拳友会）須田陸哉・大谷眞登（群馬北毛道院拳友会）中村心羽・寺田奏太（千葉清見台道院拳友会）齋藤漣太郎・中山直也（埼玉神川スポーツ少年団）照井愛咲美・今井桜（埼玉中部道院拳友会）古里心ノ華・萩原珠奈（加住小中学校）熊谷凜・竹村凛柊人（東京辰巳道院拳友会）吉田小紋・高橋慧太（神奈川大和道院拳友会）磯和人・保母都凪（伊勢崎東道院拳友会）清田凜・河原萄真（横浜緑園西スポーツ少年団）新谷なな美・所澤杏南（信州宮田生涯教育スポーツクラブ）水谷心之輔・古谷峻一（名古屋なるこ道院拳友会）

◆小学生６級

本川大悟・中村奏仁（伊勢崎東道院拳友会）皆川奏多・花岡琉聖（千葉清見台道院拳友会）祖父江仁志・林陽大（朝霞道院拳友会）白田彩乃・大竹創貴（埼玉川越スポーツ少年団）田中悠人・和田莞佑（埼玉中部道院拳友会）ナリオノア・富岡公太郎（埼玉中部道院拳友会）村松咲太・五ノ井大絆（市原千種スポーツ少年団）齋藤拓海・天谷時丸（こやのエンジョイくらぶ）片山篤樹・湯悉露（日本武道館武道学園）草木和心乃・蓮沼直叡（八王子高尾スポーツ少年団）太田玲・今井柚希（八王子陵北スポーツ少年団）中野みちる・長谷川恵彩（国立中スポーツ少年団）横溝勇飛・友利孔晟（秦野道院拳友会）鈴木穂崇・奥村建琉（浜北東部道院拳友会）竹山椰子・倉橋莉空（一宮中部道院拳友会）

◆小学生見習～７級

相澤佑真・山本湊士（仙台東道院拳友会）須田航大・野村碧（群馬北毛道院拳友会）桑原大和・田中瞭成（前橋中部道院拳友会）小菅耕四郎・八島葵（流山北道院拳友会）李誠可・魏俊祺（千葉市海浜スポーツ少年団）中村舞紘・中村繁（蕨市スポーツ少年団）貝田舞・貝田結（埼玉三ケ島道院拳友会）佐藤勇斗・麦沢龍夢（こやのエンジョイくらぶ）金子茉莉・太田歩（八王子陵北スポーツ少年団）大室昊・加納聖真（川崎柿生道院拳友会）樋口亘・石川陽翔（神奈川大和道院拳友会）佐藤結飛・田中和隆（下溝スポーツ少年団）渡邉庵仁・室賀匠裕（長野南スポーツ少年団）淺野栞帆・伊藤幸芽（日進南道院拳友会）倉橋恋空・大原聖翔（一宮中部道院拳友会）

≪自由組演武≫

◆小学生有段の部

酒井駿・清水陽翔（蕨市スポーツ少年団）土屋和貴・大嵩治季（伊豆長岡道院拳友会）武井大歩・武井わかな（諏訪市スポーツ少年団）倉本纏・森唯人（琴弾道院拳友会）

◆中学生段外の部

大場悠靖・三本松恋（茨城三和スポーツ少年団）赤津菜乃・古橋暁（茨城石岡道院拳友会）伊藤紗良・髙橋シルヴィアそよ葉（清真学園）宇野心優・宮本寧久、小門琉夢・小出結良（清真学園）吉田あかり・小林桃子（前橋中部道院拳友会）小山内拓海・照井煌大（我孫子道院拳友会）齋藤晟奈・中村一吹（千葉清見台道院拳友会）谷内敦・長塚開（取手市スポーツ少年団）澤山豪人・渡辺瑛人（埼玉三ケ島道院拳友会）村松周・竹蓋寛人（光が丘スポーツ少年団）濵なつめ・齊藤伊吹、加藤舞・光永莉菜（富士見丘学園）小澤正裕・任亮太、関優輝・萩原玄雅（加住小中学校）三浦縁・三浦葵、前田紗良・島稜汰、島彩夏・福澤江莉子（横浜戸塚道院拳友会）坪井一陽･石川和篤（横浜緑園道院拳友会）前畑伊吹･平松侑直（名古屋太子道院拳友会）出口真琴･山崎芽生（名古屋なるこ道院拳友会）鎌谷桃羽・中田あおい（伏見丹波橋スポーツ少年団）伊瀬弐智・伊瀬瑛人（琴弾道院拳友会）

◆中学生有段の部

竹中寛人・池田有悟、菊田大空・小野遊土（仙台東道院拳友会）中山橙子・髙澤諒（前橋橘道院拳友会）石岡歩武・藤井吾王葉（群馬北毛道院拳友会）和田悠翔・杉浦正典（千葉市海浜スポーツ少年団）岩田隼・田口蒼來（千葉清見台道院拳友会）飛田篤芳・飛田淳太朗（ひたちなか市松戸スポーツ少年団）藤原亜季郁・髙野暖（草加道院拳友会）安岡瑞貴・秋山巴絵（入間藤沢道院拳友会）